



# 図書館だより



2024.7 | 伊丹市立東中学校 | 図書室

## 課題図書

『ノクツドウライオウ 靴ノ往来堂』

佐藤 まどか あすなる書房

『希望のひとしづく』

キース・カラブレゼ 理論社

『アフリカで、バッグの会社ははじめました  
寄り道多め仲本千津の進んできた道』

江口 絵理 さ・え・ら書房

## すいせん図書

『あした、弁当を作る。』

ひこ・田中 講談社

『カーテンコールはきみと！ 演劇ははじめました！』

神戸 遙真 偕成社

『キオクがない！』

いとう みく 文研出版

『クルックヘイブン 義賊の学園』

J.Jアルカンジョ 理論社

『シタマチ・レイクサイド・ロード』

濱野 京子 ポプラ社

『つる子さんからの奨学金』

まはら 三桃 偕成社

『バスを降りたら』

眞島 めいり PHP 研究所

『フォグ 霧の色をしたオオカミ』

マルタ・パラッツェージ 岩崎書店

『金曜日のあたしたち』

濱野 京子 静山社

『地図と星座の少女』

キラン・ミルウッド・ハーグレイブ 岩波書店

『夜空にひらく』

いとう みく アリス館

『14歳のヒロシマ 被爆者が伝える戦争と平和のはなし』

梶本 淑子 河出書房新社

『「よく見る人」と「よく聴く人」

共生のためのコミュニケーション手法』

広瀬 浩二郎・相良 啓子 岩波書店

『ようこそ！富士山測候所へ

日本のてっぺんで科学の最前線に挑む』

長谷川 敦 岩波書店

『恐竜がもっと好きになる化石の話

ゆり先生の化石研究室』

木村 由莉 岩波書店

『生きものは不思議

最前線に立つ研究者 15人の白熱！講義』

池田 譲〔ほか〕 河出書房新社

『巨大おけを絶やすな！ 日本の食文化を未来へつなぐ』

竹内 早希子 岩波書店

『タカシ大丈夫な猫』

苅谷 夏子 岩波書店

《2024年夏休みすいせん図書が図書室に揃いました！》

内容紹介：ことば蔵 HP より

『ノクツドウライオウ』

突然、家業の5代目候補だった兄が消えた。シューズデザイナーを夢みていた夏希は、靴職人として100年続く老舗靴店を継ぐべきか悩む。そんな中、祖父が作る靴を履いた人たちにおきた魔法のような変化を目の当たりにして…。

『希望のひとしづく』

この町で、ふしぎなことが起きている。古い井戸がいきなり、願いをかなえてくれるようになった。理由を知っているのは、3人の中学生だけで…。世界のかたすみからおくる愛と希望の物語。

『アフリカで、バッグの会社ははじめました  
寄り道多め仲本千津の進んできた道』

アフリカのシングルマザーの力になりたい。アフリカの貧困問題を解決するため、女性を勇気づけ、輝かせるために、迷い、遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた社会起業家・仲本千津の“進路決定”ドキュメンタリー。

『フォグ 霧の色をしたオオカミ』

19世紀末のロンドン。ストリートチルドレンのクレイは、サーカス団の檻の中で残虐な調教を受けているオオカミと運命的な出会いを果たす。クレイはオオカミを森へ返そうと、ある計画を立てて…。

『つる子さんからの奨学金』

曾祖母つる子が、ひ孫のわかばと樹に奨学金をだすという。条件は、今の実力よりひとつ上の学校をめざすことだった。部活との両立、心配する親からのプレッシャーに悩みながらも、わかばは挑戦するおもしろさを感じていき…。

『14歳のヒロシマ 被爆者が伝える戦争と平和のはなし』  
いま戦争をしている人たちは「何もわかっていない」。平和な世界のために何ができるのか。1945年8月6日、14歳の時にヒロシマで被爆し、70歳で証言者になった著者が伝えたい、戦争と平和のはなし。

《開館案内》

※夏休み貸し出し 7/1～：8冊

**7/8～12 親子開館**

**※三者懇談の期間中、図書室を開館します。**

**ぜひ、親子で本を借りに来てください！！**

**開館時間：14：00～16：00**